

令和4年度 第1回（第23期第1回）文化財保護審議会 会議録

日時 令和4年4月22日（金）午後6時00分～午後7時30分

出席者 委員：白川 重敏、小坂 克信、和田 哲、坂本 要、内野 秀重、山田 幸正  
鎌倉 佐保、眞下 祥幸

事務局：立川市教育委員会 教育長 栗原 寛  
立川市教育委員会 教育部生涯学習推進センター長 庄司 康洋  
同 文化財係長 浦島 利浩、同 文化財係 梅田 祐介

今期の初開会にあたり、教育長よりあいさつ（省略）

1. 正・副会長の選出

委員より正・副会長は市内在住、審議会委員を長期に渡って務めている方が好ましいとの意見を踏まえ、互選により、会長は白川重敏委員、副会長は小坂克信委員に決する。

2. 人事異動について

事務局より資料1「立川市教育委員会事務局組織図」について説明。教育長、教育部長、生涯推進センター長の人事異動と、文化財係の職務分担について報告する。

3. 報告

1) 事業報告及事業予定について

事務局より資料2-1「歴史民俗資料館・古民家園来館者数一覧」、昨年度1月から3月までの事業報告資料2-2「歴史民俗資料館・古民家園事業報告」、5月から7月までの事業予定資料2-3「歴史民俗資料館・古民家園事業予定」にそって報告。

コロナウイルスの影響により、1～2月にかけて来館者は減っていたが、3月に入り徐々に戻ってきている。団体見学・事業参加者数は人数を制限している。うどん作り等の講座については、試飲食を伴わない形で実施をした。市内文化財を散策する体験学習は人気があり、募集を開始するとすぐに定員に達してしまうほど盛況をいただいている。今後も感染状況により、事業別（博物館）対策ガイドラインに従って事業開催したい。

本報告に関する委員からの意見無し。

2) 埋蔵文化財調査及び調査報告書について

事務局より、昨年度2月から4月までに現地調査を行った資料3「埋蔵文化財調査報告」に沿って報告。

10件の調査を行ったが年度末になるため、ガスや電柱工事が大半を占めている。確認調査は2件行った。建築資材高騰の影響もあってか、4月の埋蔵文化財届出は0件となっている。

委員：確認調査を行った向郷遺跡の確認調査については、勝坂式土器が多く出ており、竪穴住居跡も確認されたが、攪乱されていたため、遺構が壊れてしまっていた。資料では、住居跡2軒以上になっているが、本来はもっと多くの住居跡が確認できたはずである。普濟寺遺跡の確認調査は攪乱がひどく、遺物も全くでなかった。

3) 令和4年度文化財保護に要する予算の概要について

事務局より、資料4「令和4年度文化財関係歳出予算表」に沿って報告。

令和4年度は前年よりも事業の予算が減っているが、国宝修理事業に対する市補助額が少なくなった差分になる。令和3年度は新収蔵庫建設のため事業費が大きく、市からの補助金も多かった。

委託費の写真資料電子化は、資料館が一般に利活用している紙焼き写真を、デジタルデータに複製化する事業である。資料館が所蔵する貴重な資料を、劣化が進む前にデジタルデータで保存することで、長く後世へ残していくことができる。

その他、資料館がかなり老朽化しており、収蔵庫の消防設備に一部不具合が出ているので、新しい設備に取り換える修繕費や、30年以上使用している館内の荷物用エレベーター改修費用の予算が繰越明許費としてついている。

本報告に関する委員からの意見無し。

#### 4) 令和4年度歴史民俗資料館・古民家園事業計画について

事務局より、資料5「歴史民俗資料館・古民家園事業計画表」に沿って報告。

特別展示室を使用するものは新収蔵品展、遺跡展、多摩川と災害の展示、1～2月にかけては、小学校の支援として昔の道具の展示を計画している。

加えて、体験学習は月に1回のペースで実施していく予定である。文化財を巡る散策や、体験学習室を使用して郷土の食文化を通じて地域を学ぶもの、年中行事のお飾りなど習俗のミニ展示を予定している。体験学習に関しては、コロナウイルスの影響により人数を制限する等の対策を取って行っていく。

古民家園では畑を利用して、古くから砂川地域でおこなわれていた麦の栽培や脱穀、さつま芋収穫等の体験学習を予定している。

本報告に関する委員からの意見無し。

#### 5) 市指定文化財の現状変更について

事務局より、資料6に沿って報告。令和3年11月に、こもればの里内にある旧石井家住宅、長屋門、土蔵に火災報知設備を増設したい旨の現状変更申請があった。その工事が令和4年3月に終了したとの連絡があり、担当が現地確認してきた。

近年文化財が火災で焼失する事故が増えている。このことを受け、文化庁が文化財建造物などに点検火災設備を増設するよう指示があり、国の有形文化財として今回の現状変更であることを理解している。

現状変更の施工前には、前審議会委員の稲葉先生に同行してもらい、火災報知器はなるべく目立たない場所に、目立たない色のものを設置し、建造物の景観を損ねないように指導いただいた。現地確認の際は、その点を確認した。

本報告に関する委員からの意見無し。

## 4. 議 題

### 1) 文化財指定及び未指定文化財の調査について

事務局より、資料7「文化財指定及び未指定文化財の調査について」に沿って説明。

事務局：立川市の文化財指定は、平成29年の「立川氏文書」を指定して以来おこなわれていない。今後の指定候補は7件あり、文化財調査票にその概要や説明を掲載している。引き続き指定候補の文化財については各所有者と連絡を取り、市指定文化財の同意を得る交渉を行っている。コロナウイルス等の影響もあり、調査等が進んでいないが、今後も所有者の意向を確認しながら説明等をしていきたい。

本議題について委員からの意見無し。

## 5. その他

資料館内施設視察 主に収蔵庫内の状況について説明。

委員の意見等は省略。

次回開催予定：令和4年7月22日（金）午後6時～